

実践記録 シリーズ 129

青少年指導者養成事業「いきいき体験学」

新潟県立青少年研修センター 研修課 社会教育主事 清水 秀樹

1. はじめに

新潟県立青少年研修センターは、新潟市西南部につらなる小高い丘の上に位置しています。小学校の自然学校から一般企業の研修まで、幅広い方々に利用されている施設です。団体ごとに研修を行う受入事業の他に、個人や家族を対象にした様々な主催事業も行っています。青少年指導者養成事業は、講師を招いて県下に広く参加者を募集する、当施設の中核的な事業のひとつです。

2. 内容

体験的に学ぶことが重要視され、また体験活動の促進など教育現場の流れを受けて、青少年指導者の指導力向上、体験学習への理解を深める目的で行っています。今年度は、募集対象を青少年指導者と18歳以上の青年とし、各回とも30名を定員として、3回の実施を計画しました。

1回目は、人間関係づくりのため、アドベンチャー教育についての研修を計画しました。アドベンチャー教育は、様々な冒険活動を行う過程で自己と向き合い、仲間との対立や協力などを体験しながら信頼関係を学ぶことを目的としています。短時間のゲームの中にも、一人ひとりが自ら行動できるよう学習していく仕組みを取り入れているので、学校の先生はもちろん、青少年に関わる全ての方に役立つと考えています。

2回目は、環境教育の指導者を養成する研修を計画しました。様々なアクティビティを通して、楽しくかつ科学的に環境学習ができるプログラムを体験し、指導者となることを目指す内容としました。環境学習を体験的に行うことにより、子どもたちは楽しく理解することができ、責任ある行動へと結びつけることができると考えています。

「いきいき体験学」は3カ年計画で実施した主催事業であり、今回はその最後の年にあたります。そのため、今年度の第3回目「企画力向上編」はこれまでのまとめとしての意味も持たせたいと考え、指導者としてどのようにプログラムを作っていくか、人の集まるプログラムには何が必要かという視点で研修を行いました。

3. 「企画力向上編」研修レポート

まず、実際に研修生が当施設の自然環境を使ったプログラムを体験することから始めました。フィルムケースに自然のものを入れて、その中身を考える活動。鏡を持って、鏡に映る上方の風景を感じる活動。自然環境の中から二色を選び、その色の重なりを言葉で表現する活動など、私たちが普段見ているものを様々な角度から見るのできる内容でした。

次に、日頃関わっている対象者別にグループを編成し、対象者の理解を深めました。その後、はじめに体験したプログラムをそれぞれの対象者に適する形に作りかえ、研修生自らが指導者の立場を経験するというように展開しました。

同じプログラムでも、対象者に応じて工夫すると全く違うものなることに気づかされ、指導者は対象者のことをしっかり把握しなければならないのだと再確認することができました。

参加者は公民館勤務の方や学校の先生など、職業、年齢ともに幅広く、グループごとの活動では様々な意見が出されるなど、たいへん活気がありました。

4. 最後に

新しい学習指導要領では自然体験活動の重要性がうたわれています。当施設でも小学校自然体験活動指導者養成研修を実施しました。体験活動の指導をするためには、まず指導者自身が体験することが大事だと思います。また、よりよい企画を立案するためには、指導者相互の交流も大きなヒントになるのではないのでしょうか。指導者の一助になり、「研修センターでいいおみやげをもらった」と言ってもらえるような事業でありたいと思います。

来年度は、今年実施できなかった第1回と第2回の研修を充実させて、参加者の方にさらに満足していただけるような内容で実施する予定です。多くの皆様の参加をお待ちしています。



フィルムケースの中身は？



自然の中で新たな発見が！

| 回 | 日程 | サブタイトル | 内容 |
|---|----------------------------|--------------|-------------------------------|
| 1 | 5月17日(土)～18日(日) 工事のため中止 | 「アドベンチャー教育編」 | 体験学習の手法を用いたアドベンチャー教育の方法を学ぶ。 |
| 2 | 7月12日(土)～13日(日) 工事のため中止 | 「環境教育指導者養成編」 | さまざまなアクティビティを用いる環境教育プログラムを学ぶ。 |
| 3 | 9月20日(土)～21日(日) | 「企画力向上編」 | 参加者が集まる企画を立案し、指導する力の向上を図る。 |

※今年度は施設内のアスベスト除去工事のため、第1、2回の開催を中止し、第3回のみ開催となりました。